

(令和3年5月)

種 類	市況の概要
(青果部の動向) 青 果 全 般	<p>5月の総入荷量は、下旬から曇雨天が続いたが大きな影響はなく、前年同月並みであった。総取扱金額は、前月に引き続きコロナ禍により業務需要が低迷したものの、家庭内需要が堅調であったため前年同月並みであった。今後は、例年のない早さで梅雨入りした影響により生育が鈍り、不安定な入荷が懸念される。</p> <p>6月は、野菜では、賀茂なすや万願寺とうがらし等の近郷果菜類の入荷が増え、青梅が最盛期を迎える。果実では、桜桃やすいか等の入荷が増え、桃やデラウェア等の入荷が始まる。</p>
野 菜	<p>野菜全般の入荷量及び単価はともに前年同月並みであった。</p> <p>根菜類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は需要が低かったため9%下回った。</p> <p>葉菜類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は業務用を中心に需要が低かったため20%下回った。</p> <p>果菜類の入荷量は前年同月比で4%下回り、単価は8%上回った。</p> <p>土物類の入荷量は前年同月比で10%下回り、単価は34%上回った。</p>
果 実	<p>果実全般の入荷量は前年同月比で9%上回り、単価は4%下回った。</p> <p>かんきつ類の入荷量は前年同月比で13%下回り、単価は34%上回った。</p> <p>りんご類の入荷量は前年同月比で128%上回り、単価は42%下回った。</p> <p>いちご類の入荷量は前年同月比で20%下回り、単価は4%上回った。</p> <p>メロン類の入荷量は不作であった前年同月と比べて11%上回ったが、単価は家庭内需要が高かったため15%上回った。</p> <p>すいか類の入荷量は前年同月並みであったが、単価は需要が高かったため9%上回った。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】	
長だいこん	長崎，千葉，鹿児島，青森，香川などから入荷した。入荷量は前年同月並みであったが，単価は需要が低かったため19%下回った。
西洋にんじん	徳島を中心に長崎，熊本，兵庫，中国などからも入荷した。入荷量は前年同月比で13%上回り，単価は12%下回った。
【葉菜類】	
はくさい	茨城を中心に長野，熊本，大分，岡山などからも入荷した。入荷量は前年同月並みであったが，単価は需要が低かったため54%下回った。
キャベツ	愛知，京都を中心に兵庫，茨城，千葉などからも入荷した。入荷量は前年同月比で15%上回り，単価は49%下回った。
ほうれんそう	岐阜を中心に茨城，京都，滋賀，静岡などからも入荷した。入荷量は下旬の曇雨天の影響により前年同月比で7%下回ったが，単価は需要が低かったため7%下回った。
レタス	長野を中心に兵庫，山梨，茨城，滋賀などからも入荷した。入荷量は下旬の曇雨天の影響により前年同月比で3%下回ったが，単価は業務需要が低かったため3%下回った。
【果菜類】	
きゅうり	宮崎を中心に滋賀，福岡，佐賀，高知などからも入荷した。入荷量は前年同月比で20%下回り，単価は13%上回った。

なす	高知を中心に岡山，滋賀，京都，福岡などからも入荷した。入荷量は前年同月比で6%下回り，単価は8%上回った。
とまと	熊本を中心に福岡，三重，京都，佐賀などからも入荷した。入荷量は前年同月比で3%上回ったが，単価は4%上回った。
ピーマン	宮崎を中心に茨城，高知，韓国，大分などからも入荷した。入荷量は下旬の曇雨天の影響により前年同月比で8%下回ったが，単価は需要が低かったため15%下回った。
【土物類】 ばれいしょ (メイクイン含む)	長崎を中心に熊本，鹿児島，北海道，静岡などからも入荷した。入荷量は前年同月比で13%下回り，単価は30%上回った。
たまねぎ	兵庫を中心に長崎，北海道，佐賀，愛媛などからも入荷した。入荷量は前年同月比で14%下回り，単価は84%上回った。

主要品目（果実）	市況の概況
甘夏かん	熊本，和歌山，福岡，香川，鹿児島などから入荷した。入荷量は前年同月比で18%下回り，単価は9%上回った。
富士 (サン富士含む)	青森から入荷した。入荷量は前年同月比で140%上回り，単価は47%下回った。
いちご	大分，福岡，熊本，佐賀，愛媛などから入荷した。入荷量は前年同月比で20%下回り，単価は4%上回った。
アールスメロン	静岡，熊本，高知などから入荷した。入荷量は不作であった前年同月と比べて22%上回ったが，単価は需要が大きく低迷した前年同月と比べて高値で推移したため21%上回った。
大玉すいか	熊本を中心に長崎，鳥取からも入荷した。入荷量は前年同月比で3%下回り，単価は9%上回った。